

コンクリート工事施工結果報告書

津市建築主事 様

提出日 年 月 日

報告書	建築主	氏名 ※	住所	電話		
	工事監理者	()級建築士 ()登録 第 号 氏名 事務所名 住所 電話				
	施工者	会社名 建築業の許可(大臣・知事)登録 第 号 住所 電話				
設計者	()級建築士 ()登録 第 号 氏名 事務所名 住所 電話					
建築工事名称						
建築場所						
確認	確認年月日 年 月 日 確認番号 第 号					
建築物の概要	敷地面積	m ²	建築面積	m ²	延べ面積	m ²
	階数	地上 階 地下 階	主要用途		構造	
計画報告書	提出済	提出日 (年 月 日)			未提出	
指定研修	工事監理者実務者	氏名 研修機関()登録番号()	連絡先	電話		
	工事施工管理実務者	氏名 研修機関()登録番号()	連絡先	電話		
	下請会社 下請工事施工者		住所			
	下請会社 下請工事施行実務者	氏名 研修機関()登録番号()	連絡先	電話		
圧送従事者	変更の有無	無 有	変更有りの場合は、変更前・変更後を併記すること			
	氏名 研修・検定機関()登録番号()		会社名及び住所			
圧送・配置計画						
〈配筋検査〉 かぶり厚さの最小値 (cm)	部 位	土に接しない部分			土に接する部分	
	柱	屋 外		屋 内		
	屋 根 板	屋 外		屋 内		
	床 板	下 端		上 端		
	は り	屋 外		屋 内		
	耐 力 壁	屋 外		屋 内		
非 耐 力 壁	屋 外		屋 内			

注1) 工事終了後必ず提出すること。

注2) この報告書とともにコンクリート工事関係の報告書等(構造体コンクリートの圧縮強度試験結果報告書、ミルシート、圧接部試験結果報告書、その他)を持参のこと。

注3) 工事期間中に指定試験所で行った海砂を含む砂の塩分、山砂を含む砂の洗い、及び砂・砂利・砕砂・砕石の粘土塊量試験の試験結果報告書を別に添付し、この欄には最大値を記入。

注4) 工事期間中に行った塩化物測定の結果報告書を別に添付し、この欄には最大値を記入。

注5) 工事期間中に指定試験所で行った圧縮強度試験(昭和56年建告第1102号)の結果報告書を別に添付し、この欄には平均値を記入。

※自書でない場合は、記名と押印が必要です。

使用 建	変更の有無		無	有	変更有りの場合は、変更前・変更後を併記すること(変更前→変更後)										
	セメント	品名・(種別)・製造工場		混和材料	品名・(種別)			レコ デー ミク スト	製造会社・工場名						
									JIS表示許可番号			工事現場までの距離・所要時間			
												km 分			
材	3) 細骨材	産地・(種別)		塩分 (%)	洗い試験 によって 失われる 量(%)	粘土塊 量(%)	アルカリ骨材反 応試験法判 明	3) 細骨材	産地・(種別)・ 最大寸法(mm)		粘土塊 量(%)	アルカリ 骨材反応			
打 込 結 果	調 合 計 画 番 号														
	打 込 箇 所														
	打 込 年 月 日														
	コンクリートの種類														
	設計基準強度(kgf/cm ²)														
	品質基準強度(N/m ²)														
	呼 び 強 度														
	ス ラ ン プ (cm)														
	空 気 量 (%)														
	温 度 (° C)														
	4)塩化物測定結果(kg/m ³)														
	使用塩化物測定器														
	供試体養生方法(現水標準)														
	圧縮強度試験所名称														
ガ ス 圧 接	5) 構造体コン クリートの圧縮 強度試験 (kgf/cm ²)		7日												
			28日												
			日												
ガス圧接継手抜取検査 試 験 方 法															
検 査 結 果 (左:抜取検査 右:外観検査)															
強度試験結果について			塩化物量測定結果について				ガス圧接継手について				受 付				
アルカリ骨材反応対策について					運搬・打込作業状況について										
打設後のコンクリート養生について					その他(骨材の品質、不具合の処置等)										